

企業立地をワンストップで支援します

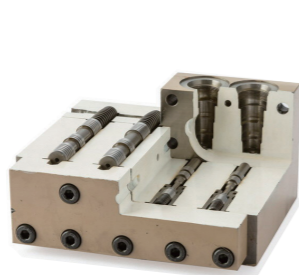
企業が県内に立地する際の各種情報提供や、立地後の操業上の課題などへの対応について、関係機関と連携を取りながら迅速かつ的確にサポートするため「ワンストップサービス窓口」を設置。県内市町や協力企業と連携して未利用地情報を収集し、産業用地やオフィスを探している企業に対して積極的に情報提供するとともに、開発許可といった各種行政手続きのサポートを行っています。

さらに各種優遇制度を設けており、例えば工場を新設・増設する企業は、一定の要件を満たすことで最大5億円の助成金や、法人税や不動産取得税などの税制優遇を受けることができます。

県内での立地や事業の拡張を検討される場合は、お気軽にご相談ください。ホームページ「かがわ企業立地ガイド」で各種優遇制度を掲載しています。



(問い合わせ先) 企業立地推進課 総務・企業誘致グループ
高松市番町四丁目1番10号東館6階 ☎087-832-3354
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kigyoritti/>



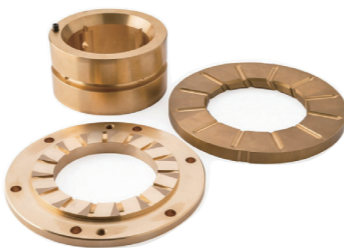
複合バルブユニット



ロータリージョイントユニット(特許取得品)



プースターユニット



過給機部品



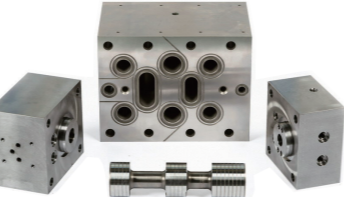
ダブルチェックバルブユニット



シリンダーポスト



吸入弁ユニット



制御バルブ部品



森川正英社長



技術先行の「いいものをつくれれば売れる」姿勢を改革し、顧客目線のものづくりを徹底していく中で、成果が出ないこともありましたが、しかしものづくりはサービス業であるという森川さんの考えは揺るがず「自社だけ満足するのではなく、サプライチェーン全体で向上していく広い視野が必要で、一緒に成長していける人たちが頑張りたい」と力を込めます。特に人材育成は技能の成長が要。いきなりハイレベルでなくていい、達成感を糧に少しずつ成長してほしいという方針の下、レベルやキャリアビジョン

職人技と最新設備のハイブリッド

調で、同じように地方都市でニッチな技術力を持つパートナーと「辺境同士」の連携確立も目指しています。「企業規模や知名度と技術レベルは比例しません。名前が知られていなくてもすごいノウハウを持つ会社は世の中にたくさんある。そこに目を向けようとするためにも、当社はまずブランドینگが鍵だと思っています」さまざまな依頼に応える中で、油圧機器と船舶部品に続く第三の事業の柱を確立するチャンスも模索。地域に根差しつつ、会社をどうアップグレードしていくかを考えて続けています。

森川さんは「職人の技能は今も重要です。人の技を守りつつ、設備も整えてみんながチャレンジできる風土をつくりたい。将来は指導する側として次世代に技術を伝える人材を育てるのが今の目標です」と、展望を語ってくれました。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087-868-9904

「森川ゲージ」とは、ここでいうゲージとは、量産部品のサイズを比較測定する測定器のこと。測定する製品の安全性や品質に関わる微細な誤差を正確に測定するため、極めて精度の高いものづくりが求められる世界です。「森川ゲージ」はこの高精度測定器を手作業で仕上げられる職人たちがそろう、特に鏡面仕上げの技術は一流メーカーも驚くほどの精度です。「森川ゲージしかできない」とうたわれる技術力で測定器を製作、さらに現在は建設機械やクレーンなどの油圧機器、船舶用エンジン部品を中心に、多岐に

わたりシェアを伸ばしています。理念は「どなかするを誇りに、どなかできる喜びに」。3代目社長の森川正英さんは「自分が何を売りたいかではなく、何を求められているかが大事なんです。当社に来る仕事は難易度が高く、他社が手を出さなかったものが多い。お客さまからの依頼を断ったら次の仕事がないのではいかというリスクをやはり考えてしまう。依頼されたらどうにか形にしようとして試行錯誤するうちに、多品種少量で大手参入のない市場の開拓に成功している感じですね」と振り返ります。営業部門を持たなくとも業績は好

「どなかする」誇り

職人技の鏡面仕上げ

挑戦する **かがわの** 19 **ものづくり企業**

高精度の製品をハンドメイドできる圧倒的な技術力。職人技と広い視野、柔軟性を兼ね備えて新しい挑戦を続ける香川のものづくり企業をご紹介します。

株式会社森川ゲージ製作所

【住所】三木町大字上氷上620(本社)
三木町大字上高岡432(第2工場)

【創業】1955年
☎087-898-1151
<http://www.mg-w.co.jp/>

